

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第3回上越市食育推進会議

## 2 議題（全て公開）

- (1) 第4次上越市食育推進計画（案）について
- (2) 令和3年度上越市食育推進実施計画（アクションプラン）の進捗管理（速報値）について
- (3) 第3次上越市食育推進計画指標項目の取組状況の推移（速報値）について
- (4) 上越市食育推進実施計画（アクションプラン）＜令和4年度～令和8年度＞（案）

## 3 開催日時

令和4年3月10日（木） ※書面開催

## 4 開催場所

—

## 5 傍聴人の数

—

## 6 非公開の理由

—

## 7 書面会議に参加した者の氏名（敬称略）順不同

- ・ 委 員：内山一晃、野口孝則、小林綾子、柳沢幸也、宮崎容子、難波久美子、岩井文弘、栗間良子、塚田圭一、佐々木亜子、榊谷友美、早津知祥、松井和代、長井慎也、北川渚、大山仁、空周一、市川均
- ・ 事務局：農政課：佐藤課長、高橋副課長、北山係長、中里主事  
健康づくり推進課：川合上席保健師長、保育課：渡邊副課長、上越ものづくり振興センター：勝山副所長、教育総務課：佐藤副課長、学校教育課：小林副課長、社会教育課：福山副課長、農村振興課：廣田副課長

## 8 審議内容（要旨）

### （1）第4次上越市食育推進計画（案）について

- ・ 第4次上越市食育推進計画（案）は、委員全員から承認を得る。
- ・ あわせて、資料No.1の各章における記述について、質問及び委員に意見を求める。

## ① 第1章 計画策定の基本的な考え方

意見なし

## ② 第2章 上越市の食をめぐる現状と課題

### 【小林委員】

・食育アンケートの質問で、若い世代の朝食の欠食が多い内容について、ここで言う「朝食」とは、どのような食事のことを言うのか。アンケートの項目で、もう少し説明したほうが良いと思う。子育てをしている場合、子どもには主食・主菜・副菜のそろった食事を準備しても、自分は簡単に済ませている人も多いと思う。夜勤の場合もそうである。「朝食」とは、どのような食事を示すのかをアンケートに加えることで、欠食の割合は減るのではないかと思った。

(回答)

・第4次上越市食育推進計画の資料として、今回追加した食育市民アンケートの結果に、朝食についての説明はないが、実際のアンケート回答用紙には、回答の前に朝食についての説明を記載している。

### 【栗間委員】

- ・旬の安価な魚介、野菜、果物等、栄養面や味が最もよい時に、焼いたり茹<sup>ゆ</sup>でたり、味噌や麴の発酵食品を使い、時間を掛けずに手早い料理は、おいしさをそのまま頂くことができる。
- ・お米は、何の食材にも調和する。
- ・市民は恵まれた地の利・環境を再認識し、子どもたちは地域の食文化の大切さを学び、健全な毎日を送ることができるように見守りたいと思う。
- ・今回の戦争で、外国からの小麦が入手困難になる。お米を見直す機会が訪れたのではないか。

(回答)

・上越市は、日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて、9年連続で特Aを獲得している米どころである。今後も継続して、日本型食生活の推進とあわせて、米の需要拡大に向けた取組を推進していく。

## ③ 第3章 食育推進計画の基本的な方向

意見なし

#### ④ 第4章 食育の推進に関する施策

##### 【岩井委員】

- ・「共食の重要性とその効果」について述べられているが、更に前進させるためには、共食の場となる「子ども食堂」や「高齢者食堂」について言及してはどうか。

(回答)

- ・28ページに記載する「地域での共食に対する支援」とは、全世代の「共食」について記載しているものである。「子ども食堂」や「高齢者食堂」は、対象や利用できる地域が限定される場合もあることから、市全体で地域での共食を支援するという観点から、計画本体には「子ども食堂」や「高齢者食堂」について記載していない。

##### 【栗間委員】

- ・高齢期の食育推進について、私の知人は、ご主人を亡くされ、一人暮らしを余儀なくされている。食事の内容を尋ねると、フライ1つ、焼き鮭1つ、コロッケ1つなどをスーパーマーケットで買っているそうである。食品ロスは防げるが、潤いが足りない。本人は、食事作りが苦手なようで、何かよい手立てはないかと思う。

(回答)

- ・スーパーマーケット等で総菜を買う際にも、野菜を意識して購入するなど、食事づくりが苦手な人でも栄養バランスに配慮した食事をとることを心掛けることができる。また、おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者のみ世帯等で身体が虚弱な人で対象となる人は、市の「ふれあいランチサービス」事業があるので、希望する場合は、相談いただきたい。

##### 【榊谷委員】

- ・料理レシピ検索サイト「クックパッド」の活用について、公式で郷土料理が検索できるのはとてもいいことだと思った。今後に向けて次の3点を提案する。

① サイト内のレシピタイトル（レシピ名）にその料理が郷土料理なのか、地元野菜のレシピなのかが分かるような記載があるとよいと思った。カテゴリ一別に分けられているものの、利用される方は、「全てのレシピページ」のみを見る方もいると思う。

② 作り方は、文章、写真の他、動画もあると若い方は分かりやすいと思った（早送りの短い動画）。それがクックパッド内だけでなく、YouTube や Instagram 等

の SNS にアップされると、なお、目にする機会が増えるのではないかと思う。

- ③ レシピの他に、地元野菜などの下処理の方法も載っているといいと思う。(山菜などは特に、レシピ内に記載されている内容とは別で、カテゴリーとして下処理方法があるとよいのではないか。)

(回答)

- ① ご意見のとおり、より多く検索してもらうためには、レシピのタイトルを工夫する必要がある。クックパッドのシステムとしてカテゴリー分けをしているが、今後は、タイトルを工夫し、分かりやすいページ作りを心掛ける。
- ② 現在、クックパッド内の公的機関のページでは、動画を投稿することができない仕様となっている。クックパッドにおける上越市公式ページの運営に協力をいただいている団体と、クックパッド以外の媒体においてレシピ動画を配信することができないか、今後検討していきたい。
- ③ ご意見のとおり、山菜の下処理は、特に若い世代にはなじみがない。上越の郷土料理には山菜が多く使われていることから、山菜や野菜の下処理のレシピも投稿していきたい。

## ⑤ 第5章 計画の推進

### 【岩井委員】

- ・上越の発酵食品を広めることについて、観光業（観光コンベンション協会）と協力して行ってはどうか。

(回答)

- ・上越の発酵食品の普及については、市内の発酵文化や食に触れるツアーを開催するなど、これまでも観光業関係者と連携して事業を行ってきた。引き続き、観光コンベンション協会等と連携して事業を行うとともに、発酵食品が食べられるお店の紹介など、新たな取組についても検討していきたい。

### 【松井委員】

- ・市から情報提供が今後なされていけば、各分野で活動している団体も連携を行うことができ、横のつながりができる。そこから縦、各団体での斜めのつながりができることにより、網羅できることもあると思う。それには、それぞれの団体の本気度が大切である。

(回答)

- ・「みんなの食育活動掲示板」を令和4年度から開設する。現在、掲示板に掲載する食育情報を募っており、委員の皆様からも積極的に活用していただきたい。

(2) 令和3年度上越市食育推進実施計画（アクションプラン）進捗管理（速報値）について

- ・令和3年度上越市食育推進実施計画（アクションプラン）進捗管理（速報値）は、委員全員から承認を得る。
- ・あわせて、資料No.3-1、3-2の記述について、委員に意見を求める。  
委員からの意見なし。

(3) 第3次上越市食育推進計画指標項目の取組状況の推移（速報値）について

- ・令和3年度上越市食育推進計画指標項目の取組状況の推移（速報値）は、全員から承認を得る。
- ・あわせて、資料No.4の記述について、委員に意見を求める。  
委員からの意見なし。

(4) 上越市食育推進実施計画（アクションプラン）＜令和4年度～令和8年度＞（案）について

- ・上越市食育推進実施計画（アクションプラン）＜令和4年度～令和8年度＞（案）は、委員全員から承認を得る。
- ・あわせて、資料No.5の記述について、委員に意見を求める。

【小林委員】

- ・9ページの「⑤適度な運動の励行」の取組の概要を見ると、各ライフステージで行われる健康教育の中で、どのように働き掛けていくのか具体性が示されると、より実施割合が増えるのではないかと思います。
- ・働く世代の人たちが毎日30分以上の運動習慣を継続するには、知識だけではなく、具体的な支援も必要ではないかと思います（スマートフォンやアプリを活用するなど）。

(回答)

- ・具体的な支援策としては、各ライフステージで行う母子保健事業の乳幼児健診、成人を対象とした健診結果説明会、町内会での健康講座等において、保健師や栄養

士が食事の食べ方と体の動かし方について直接市民に伝えるほか、働く世代に対しては、各企業が健診を行い、市に依頼のあった場合は、企業へ出向き、企業健診項目の見方とあわせ、食事の食べ方と体の動かし方について指導を行う等、運動習慣の継続に結び付く支援を行う。いただいたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。

**【岩井委員】**

- ・ライフステージに応じた食事は、極めて重要である。しかし、家族内でそれに合った食事を提供することは困難である。分かりやすい方法を提示するべきではないか。
- ・コロナ禍で人が集まりにくくなっている。しかし、食育を推進するためには、十分注意を払って「食育フォーラム」や「食品販売」を継続するべきではないか。

(回答)

- ・これまでも、栄養バランスに配慮した食事や日本型食生活の推進などの啓発を行ってきた。デジタル化に対応した SNS やインターネットを活用した周知のほか、引き続き紙媒体での周知、各ライフステージで行う健康教育や食育実践セミナーなどの事業において啓発を行う。
- ・食育実践セミナーは、令和 4 年度も実施することで計画を進めている。新型コロナウイルス感染症の拡大状況にもよるが、感染対策を十分に行い実施する予定である。また、インターネットを活用し、当日展示するパネルの内容を市ホームページに掲載するなど、その場に行かなくても食育情報が入手できるような内容を検討する。

**【松井委員】**

- ・環境保全型農業の取組について、次の点を指導してほしい。
- ・野焼きは環境汚染、地球温暖化につながり、罪悪であることに納得していただき、稲わら、麦わらは土にすき込むことで、土づくりに有効に活動できることを啓発する。
- ・喘息や肺に持病を抱えている方は、一年のうち半年近く切ない夕方を送っている。
- ・環境保全型農業に取り組んでいる方には、野焼きはしないことを条件に付けると周知につながるのではないか。

(回答)

- ・稲わらの焼却禁止は、環境保全型農業に取り組んでいる人に限らず、これまでも

市内の農業者に対し周知を行っており、稲わらの焼却に対する通報があった場合は、現地確認、指導を行っている。

- ・環境保全型農業は、農業の持つ物質循環機能をいかし、化学肥料や化学合成農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続可能な農業の手法であるが、市全体で水稻作付面積の約 1 割しか取り組んでおらず、環境保全型農業に取り組む農業者の条件とするのではなく、市全域に周知することが重要であると考えます。
- ・稲わらの焼却は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で禁止されている。市では、堆肥同等の効果を発揮し地力を上げる効果がある稲わらのすき込みを推進している。引き続き、稲わらの焼却禁止について周知、啓発するとともに、秋にはパトロールも実施していく。

#### 【空委員】

- ・4 ページ及び 27 ページの指標項目の現状の記載内容について、一部令和 2 年度の数値が記載されている。アクションプラン進捗管理表において令和 3 年度の数値が記載されているため、適するタイミングで令和 3 年度の数値を入れるべきである。
- ・アクションプランの記載内容の見直しを求めるものではないが、今後の食育推進の取組やアクションプランの PDCA サイクルを回すに当たって以下の点を検討してはどうか。

① 各指標項目について、第 3 次計画の最新値で目標値に対して大きく届いていない項目がある（アクションプラン進捗管理表の 8 ページ、13 ページ、21 ページ、45 ページ）。今後の課題・反省点の記載内容を見る限り、大きく改善することが見込めないと思われるため、本推進会議のメンバーから重点的に対策の提案をいただくなど、メリハリを付けて PDCA サイクルを回してはどうか。

② 第 4 次計画から新たに追加された指標についても重点的に審議してはどうか。なお、第 4 次アクションプランでは、達成したものに新たな目標値が設定されていることもあり、改善が進まない項目や新しい項目との違いが分かりにくくなっている。

#### (回答)

- ・一部令和 2 年度の数値が記載されている項目については、数値が確定する 6 月に全ての数値を令和 3 年度の数値に修正する。
- ・アクションプランの進捗管理表の 8 ページの「ゆっくりよく噛んで食べる人を増やす」、13 ページの「生活習慣病の予防や改善のために普段から適正体重や減

塩等に気を付けた食生活を実践している人の増加」、21 ページの「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を毎日実践している人の増加」については、各ライフステージの健康教育や食育実践セミナーなどの事業において、地道に啓発を行っているところではあるが、結果として数値が伸びてこない状況にある。実際には、アンケート実施者と各種事業の参加者が同一ではないため、数値を上げることは難しい状況ではあるが、様々な方法で事業を実施しなくてはならない。

- ・これらの項目については、令和4年度アクションプランでも引き続き取り組むこととしていることから、啓発方法など具体的な対策について、食育推進会議の中で、委員の皆様からご意見をいただき、令和5年度アクションプランにつなげていきたいと考えている。
- ・また、第4次計画に新たに追加された指標項目に関連するアクションプランについては、印を付け分かりやすく記載する。

## 9 問合せ先

農林水産部農政課農業総務係 TEL：025-520-5747（直通）

E-mail：[nousei@city.joetsu.lg.jp](mailto:nousei@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。